

# いわて

## 議会だより

2011.09

21

2010  
いわて夏まつり  
花火大会

### Contents

- 2 第2回市議会定例会、一般質問
- 13 委員会報告
- 16 9月議会の本会議開催予定日 編集後記 フォトギャラリー

発行：岩出市議会  
〒649-6292 岩出市西野 209  
編集：議会広報常任委員会  
TEL 0736-61-6947  
E-mail gikai@city.iwade.lg.jp

# 平成23年 第2回定例会

案 件 名	結 果	賛否		○…賛成		×…反対		―…賛否に加わっていない										
		公明党 議員団	日本共産 党議員団	岩出クラブ	民主いわで	ネット岩出												
		田畑昭二	玉田隆紀	宮本要代	市來利恵	増田浩二	上野耕志	福山晴美	田村耕一	山本重信	土岐健二	松下元	三栖慎太郎	田中宏幸	井神慶久	吉本勸曜	山下久美子	尾和弘一
岩出市国民健康保険税条例の一部改正	承認	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市国民健康保険条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度岩出市一般会計補正予算(第6号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	承認	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成22年度岩出市介護保険特別会計補正予算(第5号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度岩出市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度岩出市墓園事業特別会計補正予算(第1号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成23年度岩出市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度岩出市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度岩出市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市議会政務調査費の交付に関する条例の廃止	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
子どもの医療費無料制度拡充を求める請願書	不採択	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	

## 一 般 質 問

※質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。内容等については質問者にお問い合わせください。

### 土 岐 健 二 議員 3頁

◎防災対策について

### 山 下 久 美 子 議員 4頁

◎岩出市の青少年健全育成について  
◎観光農園事業について

### 宮 本 要 代 議員 5頁

◎子宮頸がん予防ワクチン接種について  
◎今夏の節電について  
◎岩出市立体育館および公民館利用者の駐車場について

### 山 本 重 信 議員 6頁

◎防災対策と節電について  
◎クリーンセンター入札方法について

### 井 神 慶 久 議員 7頁

◎学校給食費の滞納問題について

### 増 田 浩 二 議員 8頁

◎平和行政について  
◎古戸川支流の環境整備について  
◎原発問題について

### 市 來 利 恵 議員 9頁

◎非常食について  
◎緊急時における社会的弱者に対する避難箇所について  
◎市役所職員体制について  
◎一般廃棄物ごみ処理基本計画から見る今の現状について

### 尾 和 弘 一 議員 10頁

◎東日本大震災 福島原発災害を受けて  
◎臨時職員の一時的支給について  
◎ゴミ有料化について  
◎ひとり親家庭に関して  
◎入札改革について

### 田 畑 昭 二 議員 11頁

◎防災行政無線について  
◎環境保全型農業支援対策について  
◎カーブミラーについて  
◎職員の接遇について  
◎岩出御殿について

### 玉 田 隆 紀 議員 12頁

◎災害対策について  
◎救援活動について



土岐 健二 議員  
(民主いわで)

# 東日本大震災への対応・市の防災対策を問う！

## “火災報知機設置が義務化されました”

### 〔質問〕

○市の被災地に対する支援の今後の方針について。

●消防体制の広域化について、現段階での市の考えは。

### 〔答弁市長〕

○被災地における支援の受け入れ体制の状況を考慮し、県等との連携により効果的な支援を実施。

●非常時の際に指揮系統を広範囲で一本化することで応援態勢でも効果的な活動が行える。

また、医療機関と消防救急との連携を図るためには、広範囲での連携が必要であり、市として、最終的には圏域ひとつとした広域消防が望ましい。

### 岩出市人的支援

- ・〔給水支援〕 大船渡市 4月16日～22日、2名  
陸前高田市 6月7日～13日、2名
- ・〔聴覚障害者支援〕 東松島市 5月9日～14日、1名
- ・〔避難所運営管理支援〕 宮古市 5月7日～15日、1名 6月18日～26日、2名  
下閉伊郡山田町 5月11日～16日、2名
- 〔健康支援〕 下閉伊郡山田町 5月29日～2日、1名
- 〔那賀消防組合緊急消防援助隊〕 2回 23名派遣
- 〔那賀病院災害派遣医療チーム〕 陸前高田市へ 5名  
下閉伊郡山田町へ 2回 7名、医師派遣
- 〔物的支援〕 石巻市へアルファ米 2,500食  
保存水 500ml 1,008本
- 〔義援金〕 6月20日現在〔21,558,633円〕  
6月17日新義真言宗根来寺より1,000万円寄与  
岩出市として見舞金 200万円を支出

### 〔質問〕

自主防災組織は現在、何団体が設立されているのか。

組織設立にあたり、市からの補助金等の支援策としては、こういった取り組みをされているか。

### 〔答弁 総務部長〕

6月現在で33組織

組織結成時点では補助金はありませんが、設立後防災資機材の購入補助として、予算範囲内50万円を上限で、購入費用の5分の4以内の額を交付。



〔被災地の状況〕

### 〔質問〕

火災報知機の設置については、災害対策として重要なことであると思いますが、どのような啓発・PRに努めてこられたのか。

現在の岩出市での設置率は。

### 〔答弁 総務部長〕

那賀消防組合と連携をはかり、未設置世帯への設置と既設世帯への維持管理の啓発に努めます。

平成23年4月現在

〔設置率63.7%〕



# 青少年健全育成について



山下 久美子 議員  
(ネット岩出)

## 観光農園事業について

### 青少年健全育成について

**質問** 青少年健全育成に対する基本姿勢は。

**答弁** 青少年健全育成に向けた取り組みを、本市の重要課題の一つとして位置づけ、地域教育の向上と、青少年育成活動をより一層強め、大人が子どもに関心をもち地域ぐるみで、未来を担う子どもたちをはぐくむ取り組みを進め、それを実現するための環境を作り上げることが基本姿勢と考えている。

**質問** 子どもたちを取りまく環境のなかで、どのようなことを課題としてとらえているのか。

**答弁** 家庭環境の複雑化にとともない、基本的な生活習慣や、規範意識が充分身につけていない子どもが見受けられ、家庭の教育力の低下



「青少年非行防止活動」

などへの対応が課題である。

**質問** 青少年健全育成の計画を作成する考えは。

**答弁** また、取り組みに対するPRの仕方は。

**答弁** 第2次岩出市長期総合計画並びに、生涯学習振興計画のなかにも、健全育成のための環境づくり、及び青少年活動の充実を載せている。今後、社会教育委員の方々と協議を重ね、検討していく。

市民へのPRとして8月から広報に青少年コーナーとして、青少年関係の活動等掲載し、岩出市ホームページにも、青少年関係の事業等について記載していく。

### 観光農園事業について

**質問** どのような事業に取り組み、どのような成果があったのか。押川地区の寒暖の差を生かした作物の栽培については、どのような取り組みをされたのか。

**答弁** 農業に対する技術習得、農業に対する理解を深めるための収穫体験の実施などに取り組んだ。平成22年度は、トマト、水菜、コマツナなどの栽培、販売を行い、平成23年度は、サニーレタス、キュウリ、パプリカなどの栽培を行っている。JA紀の里との企画調整不足等により、

目に見えた成果とはなっていない。押川地区の寒暖の差を生かした作物としてはキュウリを試験的に栽培している。

**質問** 3ヶ年事業終了後、どのような事業に取り組んでいく考えか。また、具体的な事業計画は。

**答弁** 道の駅での販売を含め、各種団体と協議を行い、押川地区で農業を営めるよう検討していく。具体的な事業計画については、今後関係団体と協議しながら検討していく。



「トマトペースト作り」



宮本 要代 議員  
(公明党議員団)

# 子宮頸がん予防ワクチン 接種について

— ワクチン接種の継続はあるのか —

子宮頸がん  
予防ワクチン  
接種について

## 質問

- (1) ワクチン接種の見直しについて。
- (2) 対象者への周知について。

## 答弁

- (1) ワクチンの一定供給量の確保が可能となり、昨年度の高校一年生に本年6月10日から、接種を再開する。
- その他の対象者には、必要な供給量の確保ができた段階で、接種再開を通知する。
- (2) 那賀医師会・受託医療機関へ周知する。
- 那賀管内の県立高等学校長に、対象者や保護者へ周知の協力依頼を行う。
- ホームページに掲載する。
- 随時周知を図る。

## 質問

- 平成24年3月31日で終了するが、岩出市単独でワクチン接種を継続する考えはないのか。

## 国の動向を注視

## 答弁

- 現在、国の厚生科学審議会、感染症分科会、予防接種部会は、予防接種法の対象にするかまた、財源のあり方を審議しているの、国の動向を注視していく。



## 今夏の節電について

## 質問

- (1) 岩出市の節電計画について。
- (2) 小・中学校で節電授業を行い、在宅率が高い夏休みの節電の意識を高めるべきである。

7月1日から  
9月22日まで、  
節電を実施

## 答弁

- (1) エコオフィスの推進に取り組んでいる。
- 関西電力から節電の協力依頼があり、また、和歌山県の「和歌山節電アクションプラン」の発表があり、冷房施設の運転時間の2時間短縮、温度設定を28度から29度に変更、18時30分以降エレベーターの運転停止などを追加して節電を実施している。
- (2) 朝の会・特別活動の間を使って指導している。
- 現在、ろうかの電気を消すこと、トイレの電気をこまめに消すこと、体育館の電気を間引いている。
- 夏休み前に、家庭での節電について児童生徒に考えさせて、実行できるように取り組みを進める。
- 保護者面談で協力を求めていく。

家庭の節電対策		メニュー	節電効果
エアコン		扇風機を使い、エアコンを使わない。	50%
		設定温度を28℃を目安に2℃上げる	10%
		「すだれ」「よしず」などで日差し緩和	10%
照明		日中は消灯。夜間も最小限に	5%
冷蔵庫		設定を「強」から「中」に。扉を開ける時間と保存食品を最小限に	2%
テレビ		必要なとき以外は消す	2%
		省エネモードに設定。画面の輝度を下げる	2%
炊飯器		早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊飯	2%
待機電力 (家電全般)		リモコンの電源ではなく主電源を切る。長期間使わない機器はプラグを抜く	2%
温水 洗浄便座		コンセントからプラグを抜く	いずれかで1%未満
		便座保温・温水を「オフ」に	

節電効果は、在宅世帯の日中の平均的消費電力に対し、その項目を実行した場合の削減率。  
資源エネルギー庁の資料から

(朝日新聞から転載)

# 防災対策・市長は語る



山本 重信 議員  
(民主いわで)

## 防災対策・部長は述べる

### 質問

- ①東日本大震災の現状を見て、市長はどのように感じたのか。
- ②今後の岩出市の防災対策見直しの考えは。
- ③災害発生時の市民への連絡方法は考えているのか。
- ④岩出市の節電対策は。

### 答弁

#### 市長は語る

①わが国最大の地震が東北や関東地方に発生しました。また、この地震で沿岸部を中心にして、大津波が発生し、多数の死者や行方不明者を出し、各地に甚大な被害を与え、家屋や田畑も一瞬にして失い、集落や市街地は消失し、地盤沈下を引き起こし、ライフラインを含む生活基盤すべてを失う大惨事となりました。

さらに、福島原発事故が発生し、放射性物質の

### 防災の日



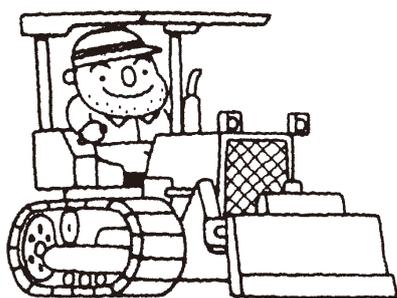
漏洩により緊急事態宣言が発せられ、非難指示や屋内待機指示や自主避難要請が出されております。さらに、農畜産物の出荷や水道水の使用が制限されています。この様に今回の災害は国家的危機となつています。

現在、全国市長会では早期復旧を求めて具体的な要望を国に出してあります。岩出市をあくまで市長としては、予測不能の災害に対応すべく、今後、今回の災害事例を参考に、防災体制の見直しを図る必要があると考えます。

### 部長は述べる

- ②現在の地域防災計画の地震予測は、岩出市内では震度5強、震度7を予測しております。
- 東日本大震災のような想定外の地震の予測はしておりませんが、今後、国の専門機関での検討結果を受けて、岩出市の防災計画と防災マニュアルの見直しを図り、秋には全戸配布します。不測の事態発生時には、自衛隊が自主的に緊急派遣が出来る体制となっております。
- 避難場所については、一次・二次避難地のほか建物以外の緊急避難場所の検討も、今後、実施します。
- ③現在は、防災行政無線や市職員が広報車等での広報活動や、地元消防団や警察など関係職員を通じて、住民に周知します。
- ④市の庁舎内の節電に付きましては、残業時の不要照明の消灯、廊下照明の取り外し、クーラーな

どの空調設備は、運転時間の短縮や温度設定の変更を実施します。事務機器等では、未使用設備の電源カット、また、週二回のノー残業デーを実施し、節電に取り組みます。市民の皆さんを対象とした取り組みとしては、市民の皆さんへの節電協力依頼に重点を置き、チラシの全戸配布や市政懇談会での節電啓発、市のホームページでの啓発等で、市民へ節電協力を求めていきます。





井神 慶久 議員  
(ネット岩出)

# 学校給食費の滞納問題について

## 過去3年間の収納率 及び 滞納額 滞納者への徴収方法について

学校給食は各市町村で運営し、必要とする経費のうち、食料費は保護者負担、光熱水費・人件費等は設置者が負担している。食料費のみを学校給食費として徴収している。岩出市での学校給食費の現状は、小学校月三、七〇〇円 一食二一〇円。中学校月四、〇〇〇円 一食二三〇円です。市での給食費は充実した食事内容を維持しながら、非常に低額に設定され、保護者の負担増加にならぬよう努力している。

近年の景気低迷により、毎日の生活に追われ、給食費の支払いまでに手が回らないといった家庭は確かに増えてきていると思えますが、そのような家庭でなく、本当に問題なのは、実際に支払い能力があるにも関わらず、子どもの人権を隠れみのに、あえて支払いを怠っているといった事例もあると聞いております。義務教育だからタダにして



過去3年間の学校給食費の収納率及び滞納額に

### 質問

ほしいとか、ひどい親になりますと、義務教育中は支払わなくても退学にはならないというようないきなりおる保護者もいると聞きます。このように自分さえよければ、他人に迷惑をかけても構わないという保護者の無責任な姿勢が感じられ、成長過程にある児童生徒にとっては、教育上好ましくないことだと思います。



	収納率	未納額
平成20年度	98.82%	2,740,210 円
平成21年度	98.88%	2,484,790 円
平成22年度	98.90%	2,529,820 円

### 答弁

滞納者への徴収の取り組みについて。市及び学校の手続きは、市及び学校の取り組みは。

滞納者への徴収の取り組みについて、市では督促・催告状の発送・電話催告・臨戸徴収・教育委員会の全庁体制による徴収を行っている。再三催告しても、納付されない方に対しては、民事訴訟法に基づき、和歌山簡易裁判所に、支払い督促の申し立てを起こしている。

その中で和解等をした者で、分割希望される場合は、納付約束により、期限をきって徴収する。学校は、市と情報を共有し、学校長・教頭が保護者と面談及び家庭訪問をし、徴収に取り組む。納付の滞っている者については、債権差し押さえを行うなど、さらに徴収体制を強固なものにして、目標を持って完全徴収を目指します。

# 原発施設いりません



増田 浩二 議員  
(日本共産党議員団)

原発に関わるシンポジウムや学習会の取り組みを



## 質問

今回の福島原発事故についての

中芝市長の認識は。

関西電力は、日高、日置川での「原発計画」や御坊市の「使用済み核燃料施設」は建設をあきらめていません。原発はいらないと言う声を上げていくべきではないか。原発事故や原発に関するシンポジウム、学習会を行い、市民とともに考えることを検討すべきではないか。太陽光発電施策について。

## 答弁

二度と事故は起こしてはならない。県内では適地性、安全性、地元合意が不可欠で、現状は建設の可能性は低いと思われる。

エネルギー問題は国の施策であり、岩出市が単独で声を上げていくことは考えていない。事故をうけ計画を白紙に戻して見直す方向が出されておられ注視していきたい。シンポジウム等の開催は考えておりません。太陽光発電への取り組みは、国の方針が示された段階で検討を行う。

## 平和事業の推進を

### 質問

平和市長会議へ参加され、平和市長会議の要請にどう応えようとしているのか。

原爆資料館の見学や終戦記念式典に参加する、「平和バス」の取り組みを岩出市としても検討すべきと考えます。岩出市でも工夫をこらした平和事業の取り組みを。核廃絶に向け、専門家を招いたシンポジウムなども開くべきではないか。

### 答弁

平和バスだけでなく方法ではないかと思っており、他の団体の動向もふまえ研究したいと考えています。

図書館では、今年も8月に平和映画会、紙芝居実演を検討中です。本の展示も「戦争、原爆」をテーマに実施します。昨年、人権を考えるついでに被爆体験講話とコンサートを開催。今後機会をとらえ考えたい。

## 古戸川支流の排水対策

### 質問

岡田の古戸川合流地点から上流部について河川整備、環境整備を求めたい。

春日川から田植え時のみ、水を引く用水路であり、普段は通水していません。特別養護老人施設計画もあり、土砂の堆積やごみも溜まっています。環境整備を。

### 答弁

市政懇談会や地元から要望なども出ており、本年度地元関係者に工事概要説明を行い、平成24年度からU字溝の設置など整備をしていきます。

今年度の浚渫については考えておりません。抜本的な浚渫は費用対効果も含めた中で考えたい。



「古戸川支流（岡田）」



市来 利恵 議員  
(日本共産党議員団)

# 災害用非常食、アレルギー対応について



東日本大震災の被災地で食物アレルギーに対応した食料の整備がされていなかったため、命の危険にさらされるケースが相次ぎました。食料がいに少ない分量であつてもシヨック症状、蕁麻疹<sup>じんましん</sup>中にはアナフィラキシーシヨックと深刻な状況になることもあります。

## 質問

①非常食の備蓄について市の状況は。

②アレルギー用粉ミルクについて、あいあいセンターなどで備蓄の考えは。

## 答弁

①公民館など市内13カ所の避難所に、厚生労働省が認定したアレルギー物質25品目を原料として使用していないアルファ化米、卵不使用の災害備蓄保存用パンなどの商品を購入している。

②粉ミルクは保存していい。アレルギーの方は、できるだけ個人で対応していただけるようお願いしたい。

## 社会的弱者に対する、緊急避難箇所について

「家族で介護されている認知症の方や身体・心身障害者の方が避難所に行きたくても行けない状況もある。」と報道されています。こうした状況では、物資が届かない、情報が入らないなどの困難が生じています。

## 質問

①対象者の状況把握について。

②発達・知的・精神障害者の方の緊急避難対策は。



## 答弁

①高齢者でひとり暮らし世帯や、高齢者のみ世帯の調査による情報や、介護支援事業所などの情報により対象者の把握に努めている。

発達障害のある子供や、障害児者について、市の関係部署やサービスマニヤ事業所から緊急時に対応が必要な方の情報収集に努めている。

②関係機関等と連携しながら、避難支援のための取り組みを進めていきます。

③岩出市と紀の川市で、那賀圏域障害児者自立支援協議会を設置している。

防災部会を立ち上げ、防災訓練や災害時の対応などについて検討を始めている。

この協議会で、当事者や関係者の避難所の設置に向けた事務を進めたいと考えている。

③福祉避難所について。厚生労働省から、設置・運営ガイドラインが、2008年6月に出されています。民間障害者福祉施設などと提携して福祉避難所を設置している市町村は、全国で595自治体。岩出市でも、設置への指定を行う必要があると考えるが、今後の対策は。

# 市長に「脱・原発と自然エネルギーへの転換」を求める



尾和 弘一 議員

## 質問

東日本大震災と原発爆発事故を受けて市の対策はどうか。

①防災計画（放射能対策）の見直しはどうか。  
 ②係から課への組織変更、格上げすべきであると思うがどうか。  
 ③防災の専門知識を有する職員の養成をすべきであるがどうか。  
 ④すべての避難所に発電機を常備すべきであるがどうか。  
 ⑤市の災害対策本部の場所はどこに置くのか。  
 ⑥西宮市の「被災者支援システム」導入の考えはないのか。

## 答弁

①広域災害となる地震津波、風水害、原子力等見直しを進める。  
 ②専任2名を配置し体制の強化をしたから、課の設置はしない。  
 ③講習会に参加させる。  
 ④十分認識している市役所から整備したい。  
 ⑤市役所内に設置する。  
 ⑥認識している。研究したい。



## 質問

原発事故で福島県民の10万人が県外へ、人間が生きて生活できない現状にあり、すでにゴーストタウン（幽霊都市）化している。

①市長に原発廃止か、推進か見解を求める。  
 ②自然、再生可能な太陽光発電設置に岩出市も補助金制度の創設をすべきであるがどうか。

## 答弁

①原発は単に賛成、反対ではない。福島事故を踏まえて国が責任を持って定めるべきであり、その議論を

注視したい。

②太陽光発電は経済的に余裕のある裕福な家庭が有利な制度である。そうでない家庭は高い電気料金を支払うだけとなる。市では補助金の創設は考えていない。

## 質問

震災で約6000人の児童が津波で死亡した。教育現場における対策と方針を求める。

一度に多くの死亡は戦後初めてと言われている。災害時の避難訓練、子供救命士の育成はどうされているのか。

## 答弁

各小学校で年1回実施している。指導要綱に子ども救命を育成する内容がないため、救命士の育成はしていない。

## 質問

一般家庭ゴミ有料化について、具体的に今後の計画・方針を示されたい。

①市民への説明計画はどうか。  
 ②家庭用ゴミ袋はいくらアップするのか。

③有価物も有料化するのか。  
 ④粗大ゴミはどうか。  
 ⑤市内一斉清掃時もある料化するのか。  
 ⑥生活保護者等はどう対応するのか。  
 ⑦持ち込みする場合も有料化するのか。

## 答弁

環境をまもる審議会得た後、10月以降に住民説明会を開催し、議会に条例案を上げたい。  
 ②から⑦については決まっていない。実施時期は来年の4月よりも7月以降と考えている。





田畑 昭二 議員  
(公明党議員団)

# 音声自動応答 サービスの導入を!

音声自動応答サービスの導入を。

## 質 問

● 防災行政無線が放送されても、聞こえにくかったりした時、再度聞きたい時に所定の番号に電話すると再聴できるシステムで、早急な対応を。● 停電時対策はどうなっているか。

ハード面と経費面について検討する。

## 答 弁

防災行政無線は市内67ヶ所に屋外子局を設置しており、防災無線の放送内容は、風向きや立地条件により、また、屋内で聞きづらい場合がある。その時は、安心安全メールで登録されている方には配信している。音声自動応答サービスは広報等の放送内容の確認には有効な方法であると考えているが、電話交換機と放送設備とのハード面の調整と導入費用や維持費用も含め、今後検討していく。



「防災行政無線」

## 質 問

● 今年度より始まった国の補助事業で、環境に配慮された有機農法や低農薬方式による農法を支援するが、当市の該当農家の方々に対する対応は。

環境保全型農業支援対策の対応は。

現在電話が4件、窓口対応が4件です。

## 答 弁

環境保全型農業直接支援対策は、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業

## 質 問

● 4月より、一階のトイレ用のロールタオルの撤去により、高齢者の利用施設でもあり、感染症が心配される。至急代替設置の考えは。● 備え付けの公衆電話も撤去されたが、一部の方が不便を訴えているが、その対応は。● 年間利用者数は。

代替となるものを早急に対応する。

## 答 弁

衛生面と費用対効果を考え、今年度から取り外したが、利用者の年代層や施設の性格上、公衆衛生

いわで御殿の施設内設備について。

者に対し、支援することを目的としている。該当農家に対し、10アール当り8,000円交付するもので、現在、電話での問い合わせが4件、窓口の対応が4件となっている。



「いわで御殿」

● 市職員の接遇について。● カーブミラー等の設置についても質問しました。

には気配りが必要であることから、その代替になるものを早急に対応します。公衆電話は、一ヶ月5人前後と少なく、また、管理事務所の固定電話で代替することから、今年度撤去したものです。平成22年度の年間利用者数は7,458人、施設利用者数は839人、合計8,297人です。

# 大災害に備えて!



玉田 隆紀 議員  
(公明党議員団)



## 質問

被災者支援システムとは、どのようなシステムなのか。

## 答弁

被災者システムは、阪神・淡路大震災で壊滅的な被害を受けた西宮市の情報システム担当職員が被災地の経験と教訓、情報化のノウハウを生かし、復旧復興業務や被災者を支援するシステムを独自に開発したものです。

災害発生時の住民基本台帳をベースに、

- ①被災者台帳の作成
- ②被災状況
- ③家屋の被害
- ④避難先
- ⑤犠牲者の有無
- ⑥口座番号

などを入力することで、

一罹災りさい証明書の発行

一支援金や義援金の交付

一救援物資の管理

一仮設住宅の入退去

など一元管理することができるシステムです。

## 質問

災害が発生した場合、行政の迅速な対応が復旧復興には不可欠であり、被災者支援システムを導入する考えは。

前向きに研究する

## 答弁

災害発生時は何が最優先です。

この後は、きめ細かい被災者支援が必要とな

る。このシステムは住民被災者の情報を一元的に管理し、必要な情報登録を行えば、罹災証明書の発行・義援金・支援金の支給・固定資産税の減免などの手続の簡素化が図れ、住民側と行政側の双方にメリットがある。

現在、導入自治体は全国で約三〇〇団体と余り進んでいない状況で、今後は東日本大震災を受け、導入が進むものと思われる。

市においては必要となる機器やシステム環境など調査し、費用面やその他の効果も含めて前向きに研究していく。

## 質問

大規模な災害が発生した場合、地上の交通網が麻痺する可能性が高く、地域が孤立した場合、緊急の救助活動や救援活動には空からによる救援に頼らざるほかない。避難所となる学校や施設の屋根に避難所名の表示の考えは。

現在考えていないが他の市町村の状況を留意する

## 答弁

災害時の避難所は市内小・中学校など初め47カ所で、建物の形状などの状況により表示が難しい施設や表示をしても上空からの確認が困難な建物もあります。

その後の維持管理に伴う課題もあり、現在、考えていないが、他の市町村の状況を留意していく。



# 各常任委員会活動報告

## 総務文教常任委員会

委員長 井神 慶久  
 副委員長 土岐 健二  
 委員 上野 耕志  
 委員 山下久美子  
 委員 市來 利恵  
 委員 宮本 要代

# デジタル行政無線が 設置完了!!

実施訓練を委員会で行いました。

○平成23年7月22日

デジタル防災行政無線  
 について、当局から説明  
 を受け、主な設置場所へ  
 見学をまいりました。



デジタル防災無線つ  
 まなに？

・人命に関わる通信を確  
 保するために、整備され  
 た専用の無線通信システ  
 ムのこと。

・公衆通信網の途絶、商  
 用電源の停電の場合に



市役所災害対策本部

も、使用可能なように整  
 備されています。



大規模な災害時に、役  
 立つ事になるんだね。  
 ところで、どこに設置  
 してあるの？

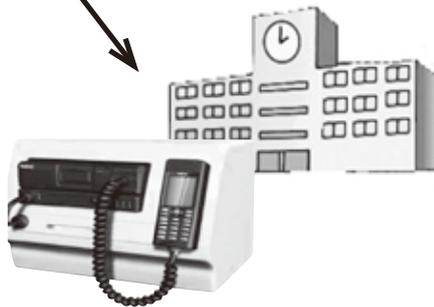
・市役所を基地局として、  
 学校や公民館、公用車に  
 も設置されています。



山崎北小学校



車携帯型



半固定型

## 委員会総評

●宝のもちぐされに  
 ならないよう、常日  
 頃から訓練を怠らな  
 いように！

●境谷地区、押川地区で  
 無線機による現地交信及  
 び、避難所への配置状況  
 を確認。



境谷地区

6月議会の委員会に  
 付託された議案は、  
 次の5件でした。

- ・岩出市税条例の一部改  
 正について。
- ・平成22年一般会計補正  
 予算第6号の所管部分。
- ・岩出市議会議員の議員  
 報酬、費用弁償及び期末  
 手当に関する条例の一部  
 改正。
- ・平成23年度岩出市一般  
 会計補正予算第1号の所  
 管部分。
- ・岩出市議会政務調査費  
 の交付に関する条例の廃  
 止について。

# 厚生常任委員会

- 委員長 山本 重信
- 副委員長 三栖慎太郎
- 委員 田中 宏幸
- 委員 福山 晴美
- 委員 増田 浩二
- 委員 田畑 昭二

## 視察報告

7月29日、重症心身障害児施設と身体障害児施設を二ヶ所と、ファミリー・サポート・センター事業施設一ヶ所を視察。



事務所所在の上岩出児童館とそらまめサポートスタッフ

ファミリー・サポート・センター事業ついに実施  
そらまめサポートを訪  
問しました！

子育て世代の熱望により、今年度、実施に至ったファミリーサポート事業の事務所を訪問。

信用と安心が第一の事業施設として、その建屋は、あまりに狭く老朽で、利用者の方々に不信任を与えるのでは？というのが委員全員の実感でした。また、視察中も隣接する遊技場の音のあまりのうるささに会話が中断することもしばしば。

以下、問題点を列挙。

- とにかく事務所が狭くて古い。
- 隣室の音が遮断できず会話がままならない。
- 会館前の蓋なし用水路が非常に危険。
- 駐車場がない。
- 子ども同伴前提の割におもちゃ等が少ない。

事務所の移転等も念頭に、委員各位で声をあげていきます。



### 重症心身障害児施設 (和歌山市) 愛徳医療福祉センター (岩出市) 和歌山つくし 医療福祉センター

両施設とも、大きな窓を配し、明るく開放的且つ、家庭的な温かさを感じさせる作りで、創立者や運営者の心配りが伝わってきました。

また、ご自身では動くこともままならない方々のため、経験に裏打ちされた安全のための工夫が随所に施され、プロとしての視点を、各所で拝見させていただきました。

次にお話を伺った中で、気になった問題点を、いくつかご紹介します。

- 介護職、看護師、医師といった専門スタッフの慢性的な人手不足。
- 現場のニーズと乖離した様々な国の規制。
- 18歳を超えた重症心身障害者の移転施設不足。
- 近年、増加傾向にある発達障害児への対応。
- ご家族のレスパイト(息抜き)等のケアに対する理解と周知。
- 給付枠拡大等、公的な支援拡大のニーズ。



愛徳医療福祉センターにてスタッフと懇談



和歌山つくし医療福祉センターにてスタッフと懇談

国政レベルでしか対応できない問題も多いのですが、市政レベルもしくは、地域の共助で解決の糸口が見つかるかもしれない事案もあります。重症心身障害児(者)とご家族、また、現場で日夜、元気に明るく頑張っておられるスタッフのためにも、厚生常任委員会として、今後も問題意識を持って研究を続け、新たな行動に結びつけていきたいと考えています。

建設常任委員会報告

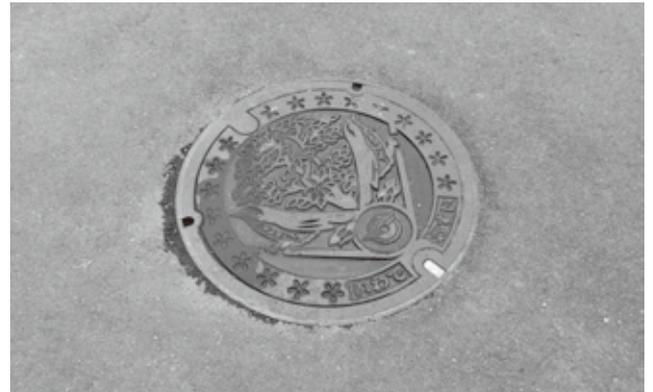
委員長 田村 耕一  
 副委員長 玉田 隆紀  
 委員 吉本 勸曜  
 委員 松下 元  
 委員 尾和 弘一

6月の第2回定例会において委員会に付託されました議案7件について、6月21日に慎重に審査を行いました。

所管の議案は全会一致ですべて可決し、市道路線も全線認定となりました。

議案審議に先立ち、市道路線の認定のための現地視察いたしました。

議案については、建設常任委員会の所管である根来公園墓地、下水道事業、工事が進んでいる湯窪中島線等について審議をいたしました。



湯窪中島線の工事現場

下水道のマンホール

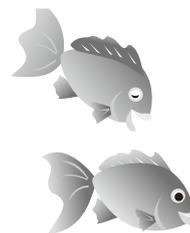
**議員からの寄付は  
禁止されています。**

議員が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に寄付や差し入れなどをしたり、祝い金や贈り物をする場合は、公職選挙法等により罰則をもって禁止されており、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。

皆様のご理解とご協力をよろしく  
お願いいたします。

残暑お見舞い  
申し上げます

岩出市議会議員一同



# いわで ふおとぎやらしい

岩出第二中学校躍動祭



クリーン缶トリー運動 in 岩出

9月議会の本会議開催予定日は、次のとおりです。

**9/7日(水)、12日(月)、22日(木)、27日(火)、28日(水)、29日(木)**

## 編集後記

東日本に励ましを送ると誓って出発したなでしこジャパンは、サッカーの女子ワールドカップで初優勝の快挙を果たした。試合前に、震災と闘う人の映像を見て士気を高め、耐えて、耐えて全員があきらめなかった勝利に、感謝をする人は多い。九月一日から、オリンピックの予選が始まる。世界一の応戦に期待したい。

私たちも編集について学び、議会報告を伝える最高の紙面づくりに挑戦を決意する。

### ■議会広報常任委員会

委員長 松下 元

副委員長 宮本 要代

委員 三栖慎太郎

〃 福山 晴美

〃 市来 利恵

〃 吉本 勸曜

〃 土岐 健二

〃 尾和 弘一